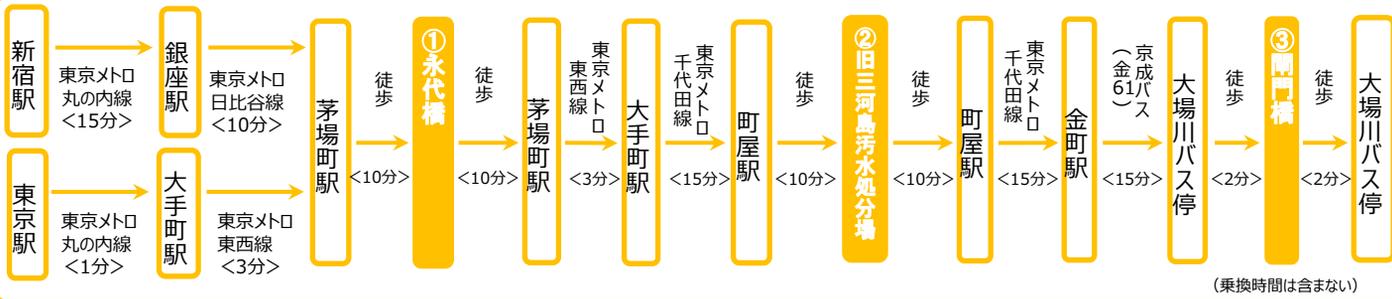


「土木遺産・重要文化財」を巡るコース



①永代橋 (国指定重要文化財)

見学時間
10分

元禄年間に隅田川4番目の橋として架設され、現在の橋は1923年(大正12年)の関東大震災の復興事業で架け替えられたものです。当時は最下流部に位置する橋であったため、「周辺の海を臨む雄大な景色に調和するように雄大豪壮な下路式アーチ橋」とされ、日本初の支間長が100mを越える橋となりました。2007年(平成19年)国の重要文化財に指定されています。

【施設情報】
所在地：中央区新川1～江東区永代1



②旧三河島汚水処分場唧筒場施設 (国指定重要文化財)

見学時間
30～60分

旧三河島汚水処分場唧筒場(ポンプじょう)施設は、隅田川中流に位置する旧下水処理場施設で、大正11年3月に運用を開始しました。わが国最初の近代下水処理場である旧三河島汚水処分場の代表的遺構として、高い歴史的価値が認められ、平成19年12月4日に国の重要文化財(建造物)に指定されています。

【見学案内】
所在地：荒川区荒川8-25-1
受付窓口：03-6458-3940(三河島重要文化財見学受付)
受付日時：事前予約が必要です
平日(火曜・金曜・年末年始を除く)、土・日・祝日
9:00～17:00
入場料：無料



※詳細はHPをご覧ください。
⇒ <http://www.gesui.metro.tokyo.jp/living/tour/guide/s-mikawa/07-01/index.html>

③閘門橋 (人道橋) (土木学会選奨土木遺産)

見学時間
10分

葛飾区水元・埼玉県三郷地区の水害防止と水利調節のため、明治時代に建造された都内に現存する数少ないレンガアーチ閘門で、橋梁としての機能も有していました。上流側と下流側でアーチの門数が異なる非常に珍しい構造で、関東に残る最大のレンガ樋門となっています。現在は、埼玉県側から水元公園に向かうための人道橋として多くの人々が利用し、地域のランドマークにもなっています。平成25年度に土木学会の選奨土木遺産に認定されています。

【施設情報】
所在地：葛飾区西水元6

